

。国語科学習指導案

単元名：漢詩の世界を伝えよう
漢詩の風景
(全6時間扱い中 第2時)

授業日時 令和3年7月8日(木) 第5校時
授業学級 2年B組
授業会場 2年B組教室
授業者
指導者

(1) ねらい

漢詩に描かれている情景を分かりやすく伝えることができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：「春暁」の訳詩を考える。
- ・活動：小学6年生に伝わるように訳詩を工夫する。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 教師の体験談を聞き、学習の見通しをもつ。	◇教師が盧僊の「南楼望」を小学6年生に伝えようと考えた訳詩が分かりにくかったという経験談を伝え、感想をもたせ、発言を促す。 ○「これをどのように訳詩すれば分かりやすくなるだろう。」	7
	2. 「春暁」を白文のまま見て、どう伝えればよいかを考える。		
	【学習問題】「春暁」を分かりやすく伝えるためにはどうすればよいか。		
	○「学校説明会来る小学6年生にどう言えば、伝わるかな。」		
	【学習課題】学校説明会に来る小学6年生に伝わるような訳詩を考えよう。		
展開	3. 音読をして、漢詩独特のリズムをつかむ。	◇訓読文をもとに繰り返し音読をしながら、読み方について確認する。	10
	4. 自分なりの訳詩を考える。	◇分からない語句や気になった語句について確認する。場合によって、情景を表す写真を示す。 ◇訓読文や写真を手がかりに訳詩を考えさせる。 ・必要があれば、隣の友だちと考えを交流してもよいことを伝える。	10
	5. 考えた訳詩の良さについて伝え合う。	◇chromebookを用いて、googleの作業場に各々考えた訳詩を入力する。 ◇googleの作業場にあるクラス全員の訳詩を一覧にまとめ、感想を伝え合うよう促す。 ○訳詩を見て、分かりやすく伝わってきた言葉は何かな。	13
	【評価】漢詩に描かれている情景を分かりやすく伝えることができる。(観察・ワークシート)		
終末	6. 本時の学習の振り返りを行う。	○「漢詩を分かりやすく訳詩するときに、どのような点に気を付けようと考えましたか。」	10